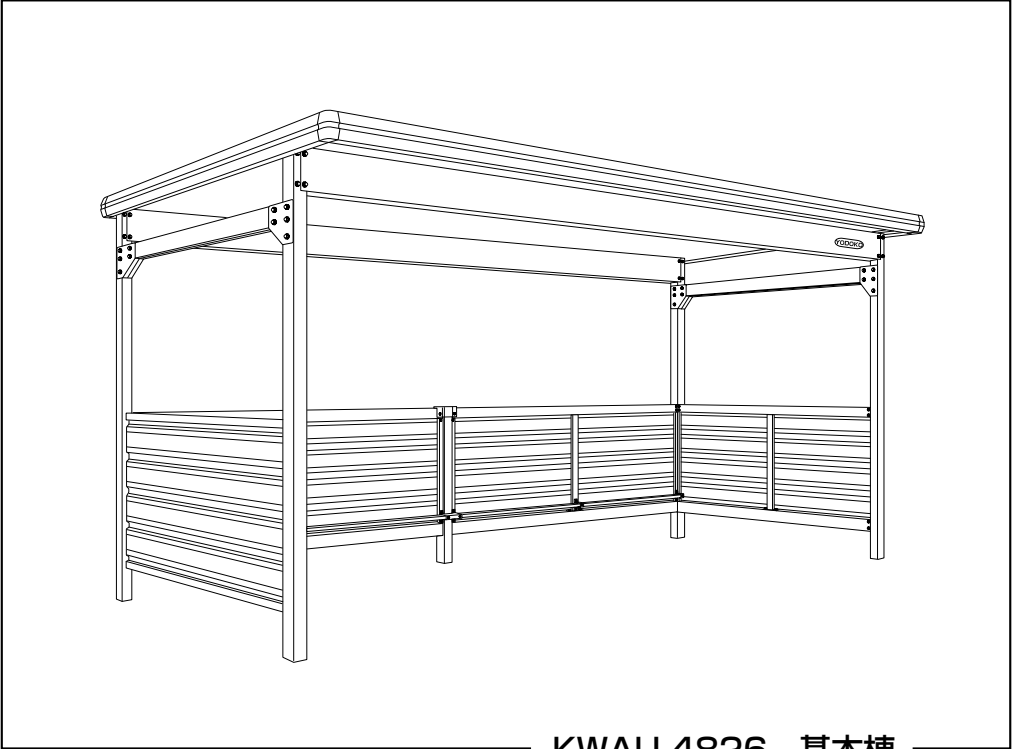


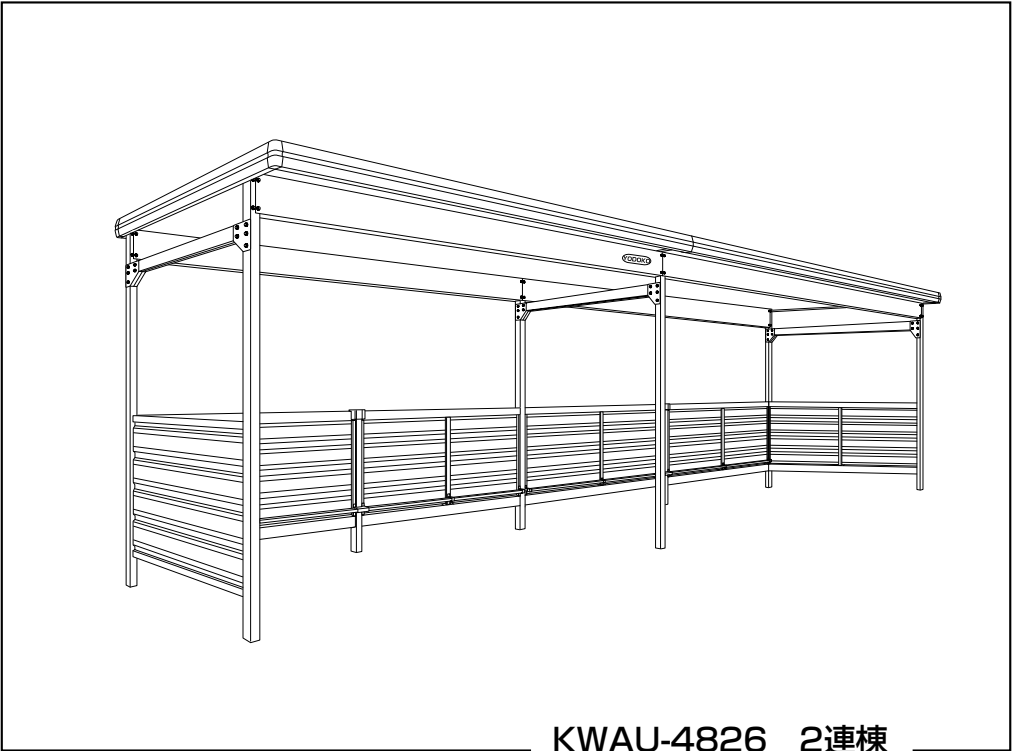
ヨド自転車置場

KWAU(豪雪地型) 組立説明書

このたびは「ヨド自転車置場」をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
組み立てる前に、この「組立説明書」をかならずお読みください。



KWAU-4826 基本棟



KWAU-4826 2連棟

設置場所の制限

△注意

- 建物の屋上には設置しないでください。
- 避難通路にあたる場所には設置しないでください。
- 大屋根からの雨水や雪が、直接物置の屋根に落ちる場所には、設置しないでください。
- 崖のふち・風当たりの強い場所等安全の確認のできない場所には、設置しないでください。
- 給湯器の前には設置しないでください。

組立施工の際には

△注意

- 転倒防止工事を必ず行ってください。
- 仮組み用のアンカーボルト（W1/2相当）又はオールアンカー（C12相当）は別途用意してください。

お願い

- 組立の際には手袋を着用してください。
- 風の強い日・雨の日は、組立作業をさけてください。
- 高い足場が必要ときは、踏み台・脚立等安定した足場を使用してください。
- 組立後、各部のボルト・金具の忘れやゆるみがないか確認してください。

〈施工にあたって〉

- 1.まず、御注文通りの商品かどうかを確認してください。
- 2.部材の共通化のために、実際には使用しない孔のあいている部材がありますので、説明書に従って組立してください。
- 3.部材は、すべて、銅製ですので手を切らないようくれぐれもご注意ください。
（安全のため必ず手袋を着用してください。）
- 4.部材名称の右・左は、正面に向かって右側に取付く部材を右、左側に取付く部材を左とします。
- 5.部材の組立では、ボルトの孔を合わせて組立てください。ボルト孔が合わなかった場合は、ボルトをゆるめ、ボルトの孔位置を合わせてください。

棚包組合せ表				
棚包名	棚包番号	棚包重量	KWAU-4826	
			基本棟	追加棟
部 品	KW1-0102	23.0	1	
	KW1-0152	15.0		1
柱	KW1-0402	36.0	1	
	KW1-0404	36.0	1	
	KW1-0406	36.0		1
	KW1-0421	16.0	1	1
支柱	KW1-0451	24.0	2	1
柱補強	KW1-0503	40.0	1	1
	KW1-0504	40.0	1	1
	KW1-0505	36.0	2	2
胴縁	KW1-0602	33.0	1	1
	KW1-0603	27.0	1	
屋根	KW1-0902	15.0	8	8
	KW1-0952	8.5	1	
屋根部品	KW1-0954	8.0		1
	KW1-1002	16.0	1	1
壁※1	KW1-1003	14.0	1	
	KW1-1101	9.0	1	
鼻隠し	KW1-1103	9.0		1
ケラバ	KW1-1121	17.0	1	
梁	KW1-1601	18.0	2	1
			27	21

※1 壁棚包にはTS（チタニウムシルバー）・OR（ハッピーオレンジ）・GR（ポップグリーン）の3色があります。色があるている事を確認してください。

棚包内容表

●部品棚包

棚包番号	部 材 名	数量
KW1-0102	鼻隠しコーナー樹脂	2
	ケラバコーナークーキング	2
	鼻隠し補強金具	1
	連結金具	2
	アンカープレートN	5
	鉄筋10φ×350	5
	ボルトセット一式	1
	CB三角プレート右(左)	各4
	CB支柱キャップ	1
	車止めブラケット(1)	4
	CB車止めブラケット(4)	1
	補修塗料	1
	銘板	1
	組立説明書	1
	取扱説明書	1
	保証書	1
KW1-0152	鼻隠し補強金具	2
	鼻隠し接続金具	1
	連結金具	2
	クーキング	1
	アンカープレートN	3
	鉄筋10φ×350	3
	ボルトセット一式	1
	CB三角プレート右(左)	各2
	CB支柱キャップ	1
	車止めブラケット(1)	2
	CB車止めブラケット(4)	2

●柱棚包

棚包番号	部 材 名	数量
KW1-0402	CB柱前U左28	1
	CB柱後U左28	1
KW1-0404	CB柱前U右28	1
	CB柱後U右28	1
KW1-0406	CB柱前U中28	1
	CB柱後U中28	1

●支柱棚包

棚包番号	部 材 名	数量
KW1-0421	CB支柱1	1
	間柱(KN)背2	2
	額縁(KN)右、(左)	各2

●柱補強棚包

棚包番号	部 材 名	数量
KW1-0451	CB柱補強28	2

●桁棚包

梱包番号	部 材 名	数量
KW1-0503	C B 桁 4 8 S	1
KW1-0504	C B 桁 4 8 S P L 4 5	1
KW1-0505	C B 桁 補 強 4 8	1

●胴縁棚包

棚包番号	部 材 名	数量
KW1-0602	CB胴縁A24	1
	CB胴縁B24	1
	CB胴縁C24	2
	CB車止めパイプ24	2
	CB廻し縁24	2
	CB胴縁C20	4
KW1-0603	間柱(6)	2
	額縁(6)	4
	CB廻し縁20	2

●屋根棚包

棚包番号	部 材 名	数量
KW1-0902	CB屋根U26	1

●屋根部品棚包

棚包番号	部 材 名	数量
KW1-0952	端パネル受フレームB-N	4
	端パネル受フレームA	4
KW1-0954	パネル受フレーム88-I型	14
	端パネル受フレームA	6
	パネル受フレーム88-I型	14

●壁棚包

棚包番号	部 材 名	数量
KW1-1002TS	CB壁24TS	2
KW1-1002OR	CB壁24OR	2
KW1-1002GR	CB壁24GR	2
KW1-1003TS	CB壁20TS	2
KW1-1003OR	CB壁20OR	2
KW1-1003GR	CB壁20GR	2

●鼻隠し棚包

棚包番号	部 材 名	数量
KW1-1101	CB鼻隠し48-A	1
KW1-1103	CB鼻隠し48-B	1

●ケラバ棚包

棚包番号	部 材 名	数量
KW1-1121	CBケラバ左(右)	各1
	CB上枠左(右)	各1

●梁棚包

棚包番号	部 材 名	数量
KW1-1601	CB梁20	2

オプションベフ付屋根(標準屋根板と差し替え)

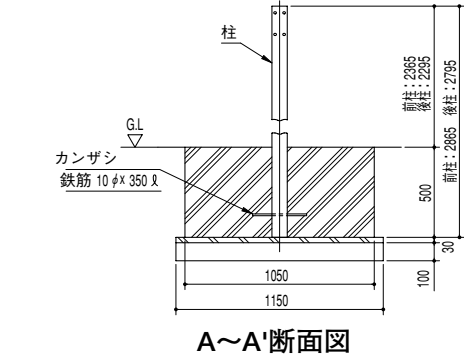
棚包名	棚包番号	KWAU-4826	
		基本棟	追加棟
CB屋根Uベフ付	KW1-0912	8	8

■基礎平面図・基礎断面図

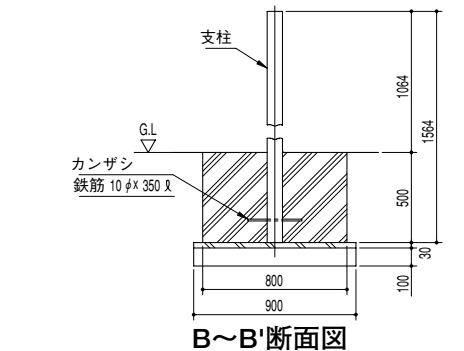
柱を建てる際に付属の仮組み用アンカープレートNを使用する場合としない場合を選択できます。
アンカープレートNを使用する場合は別途アンカーボルト（W1/2相当）又はオールアンカー（C12相当）が必要となります。

注意 アンカープレートNは強度部材ではありませんので、使用しても基礎寸法を小さくすることはできません。

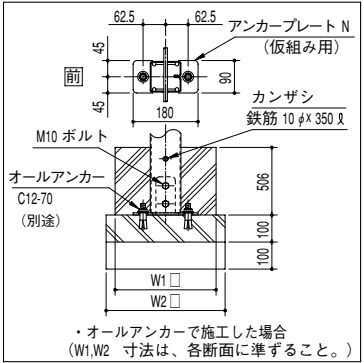
※仮組み用アンカープレートNを使用する場合は **2 柱の建て方** アンカープレートN孔位置図を参考にしてください。



A~A'断面図



B~B'断面図



※基礎・転倒防止工事については標準的施工方法とします。
軟弱地盤や、寒冷地等に設置する場合は、地域の実情に合わせてください。

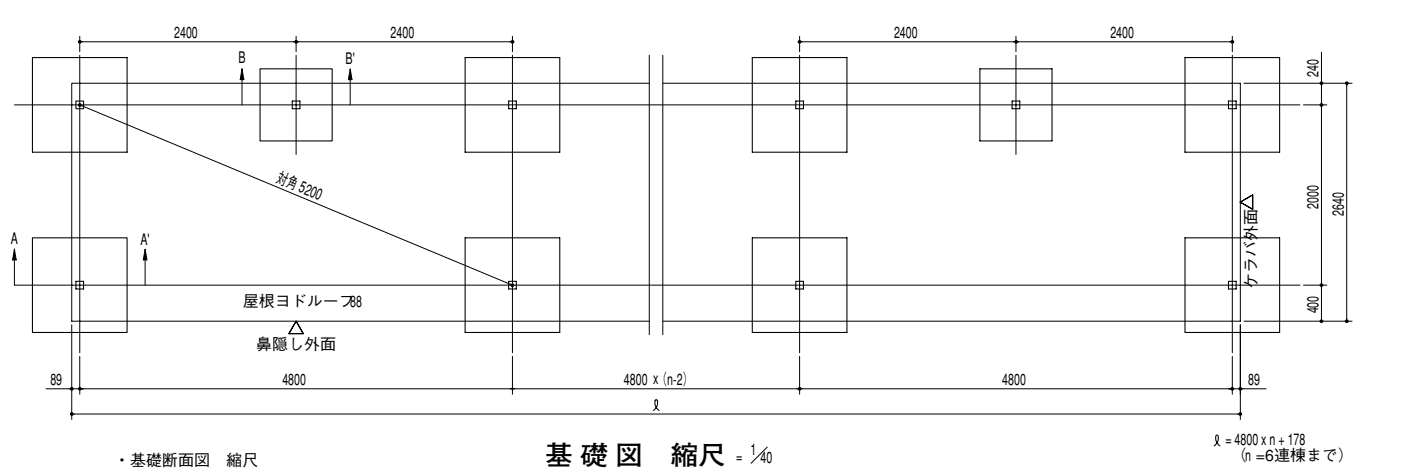
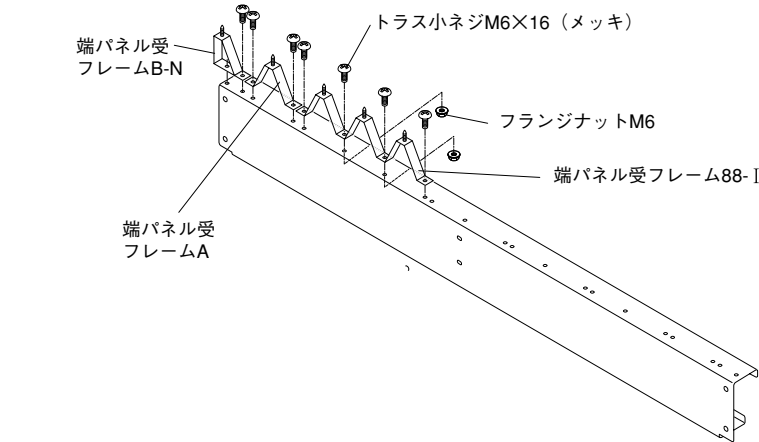
■組立に使用するボルト一覧(実物大)

ボルトM10×100



※組立て部材には保護フィルムを貼付けてあるものがあります。
必ずはがしてから組立を行ってください。

1 パネル受フレームの取付け

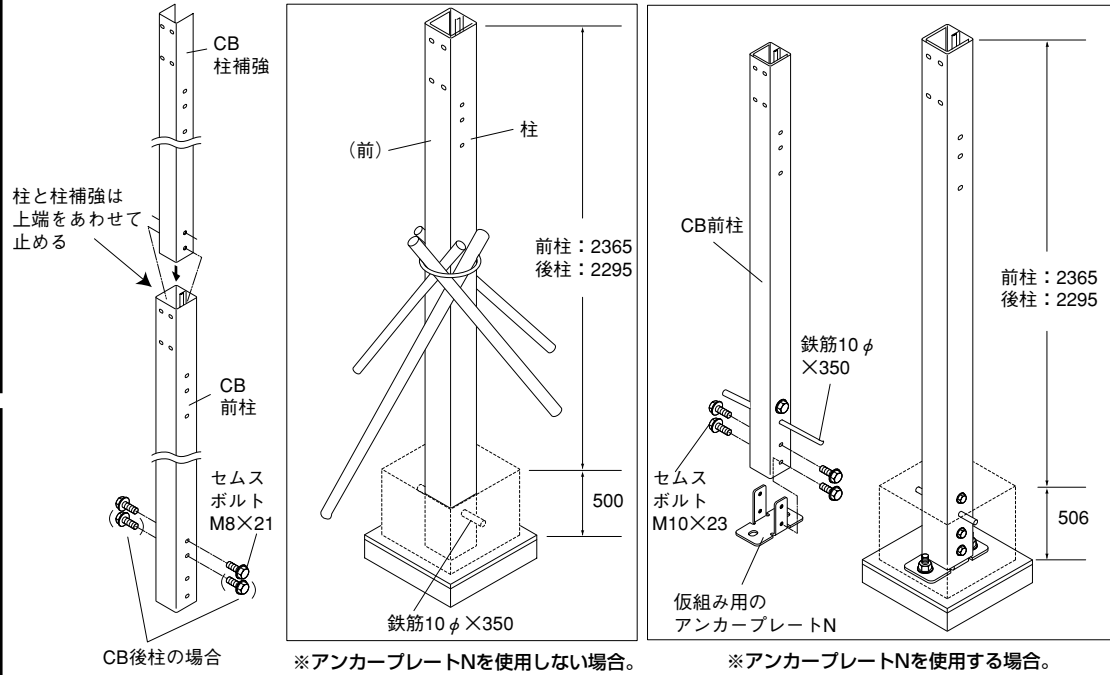


基礎断面図 縮尺 1/40

基礎図 縮尺 1/40

2 柱の建て方

基礎図に従って、柱を建てます。



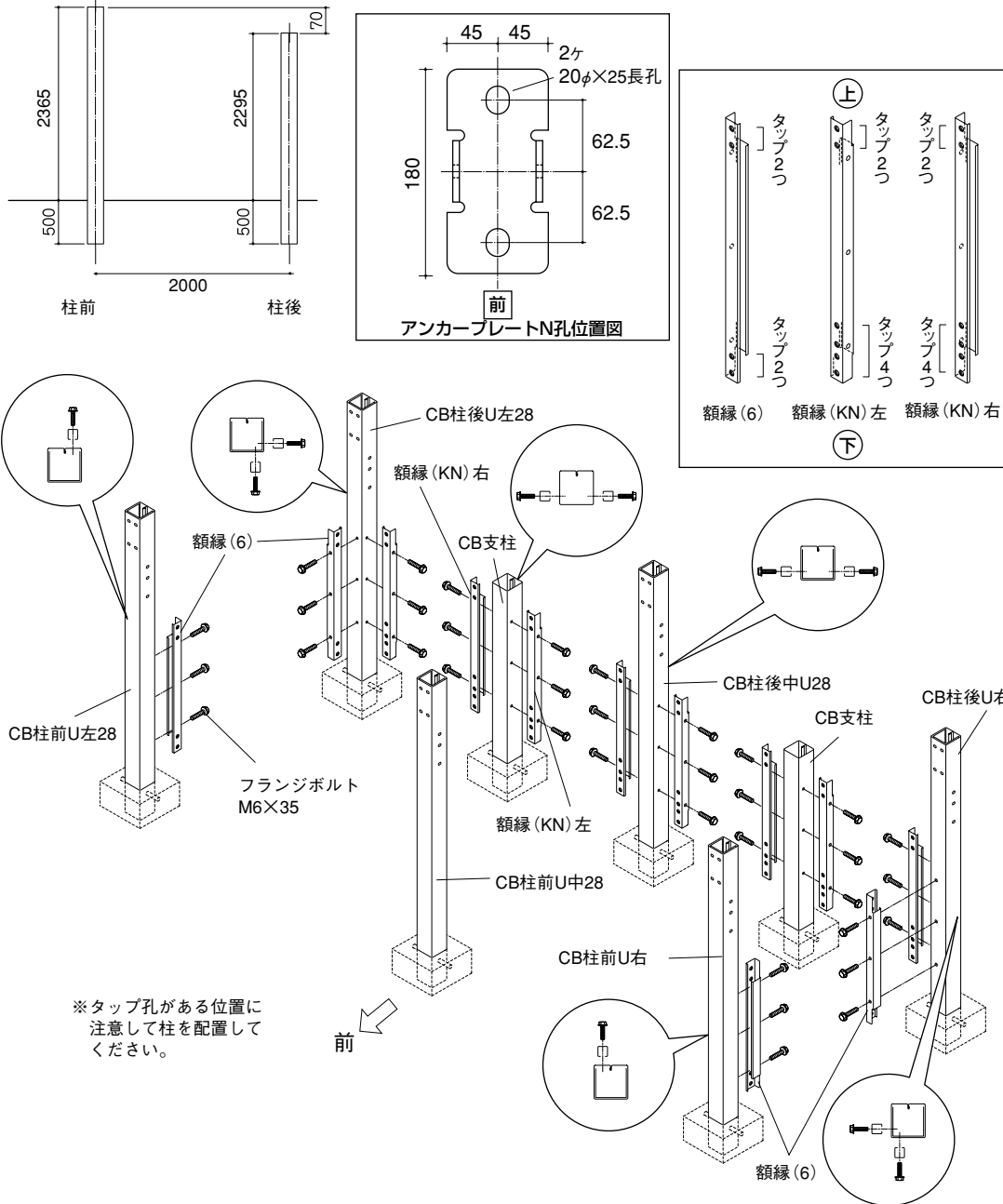
CB後柱の場合

※アンカープレートNを使用しない場合。

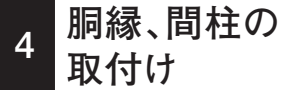
※アンカープレートNを使用する場合。の埋め込み量は506mmです。

注意 柱は自立しませんので、上図部の様に、倒れない工夫をしてください。

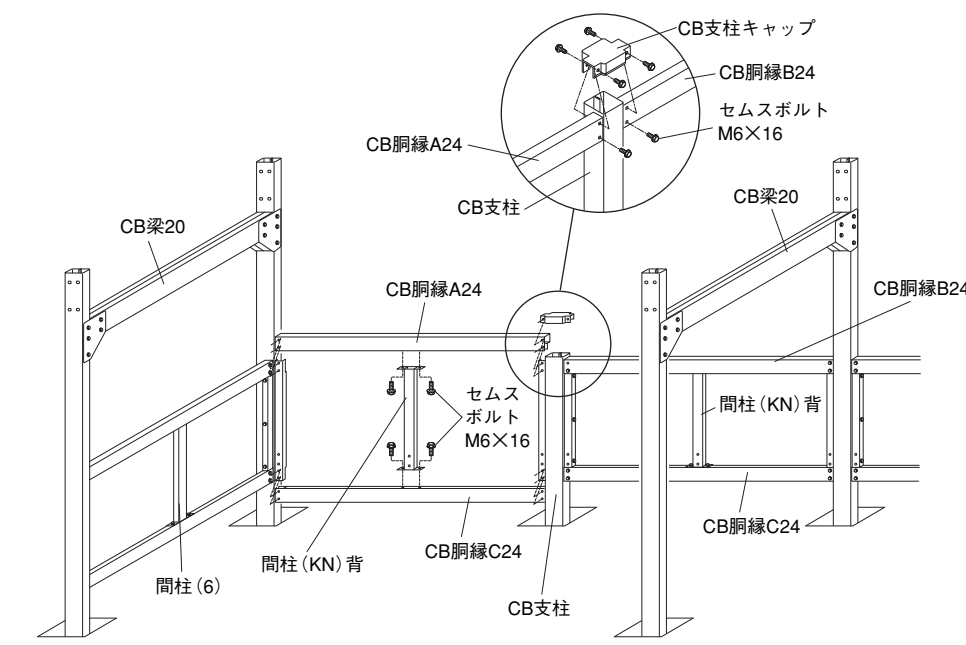
柱配置



①柱と梁を三角プレートではさみ固定します。



- ① 胴縁を額縁に取付けます。
② 間柱を胴縁に取付けます。
※ 額縁、胴縁には種類があります。
下記参照



桁を柱に取り付けます。
連結部には、端パネル受フレームAを取付けます。

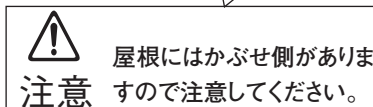


上枠を端パネル受フレームB-Nに取り付けます。

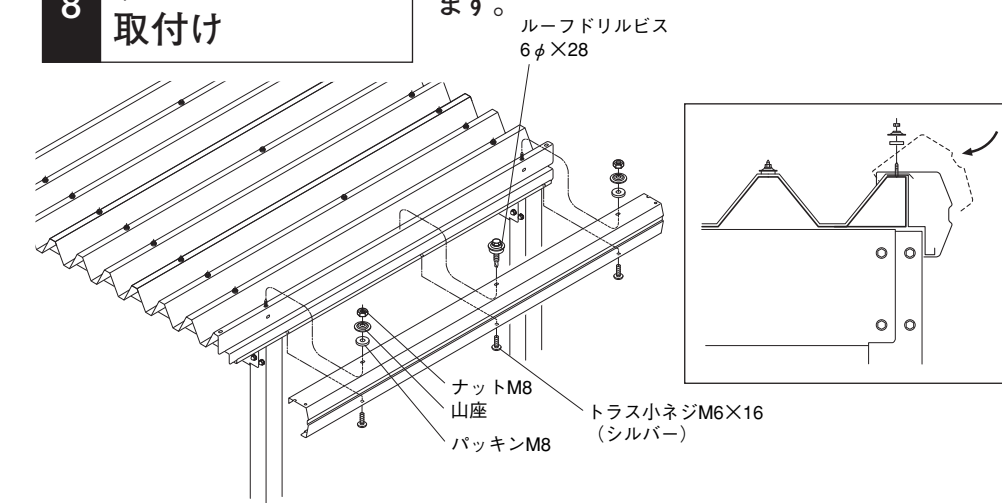


屋根を左から乗せていき、ナットで固定します。
屋根の重ね部にルーフトリルビスを打ち込み、
下からキャップをかぶせます。ルーフトリルビス
は桁間でガイド孔(4φ、8φ孔)があるところに
取付けます。

鉄粉は必ず除去してください。
(サビの原因になります)



ケラバを図の様に上枠にかぶせる様に取り付けます。



コーナー樹脂を鼻隠しのコーナー部に取付けます。後のケラバ端部には、ケラバコーナー樹脂を取付けます。

※鼻隠し配置は「10 鼻隠し取付け」を参照してください。

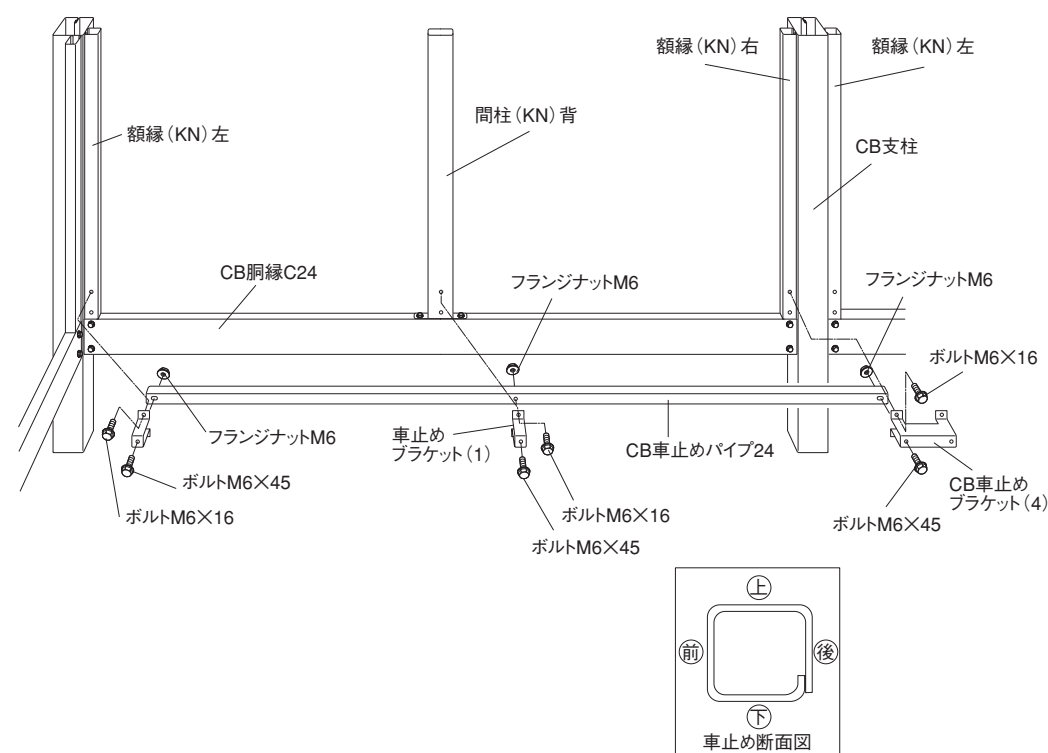


- ①鼻隠しをケラバに取付けます。接続金具部にはコーキングを施してください。
- ②鼻隠しを鼻隠し補強金具に取付けます。
- ③屋根には、鼻隠し補強金具の孔に合わせて、10φの孔加工をしてください。(下図参照)
鉄粉は必ず除去してください。
(サビの原因になります)
- ④鼻隠しをルーフトリルビスで屋根に固定してからキャップをかぶせます。

※連結の場合、必ず正面から見て左にCB鼻隠し48Aを取付けてください。



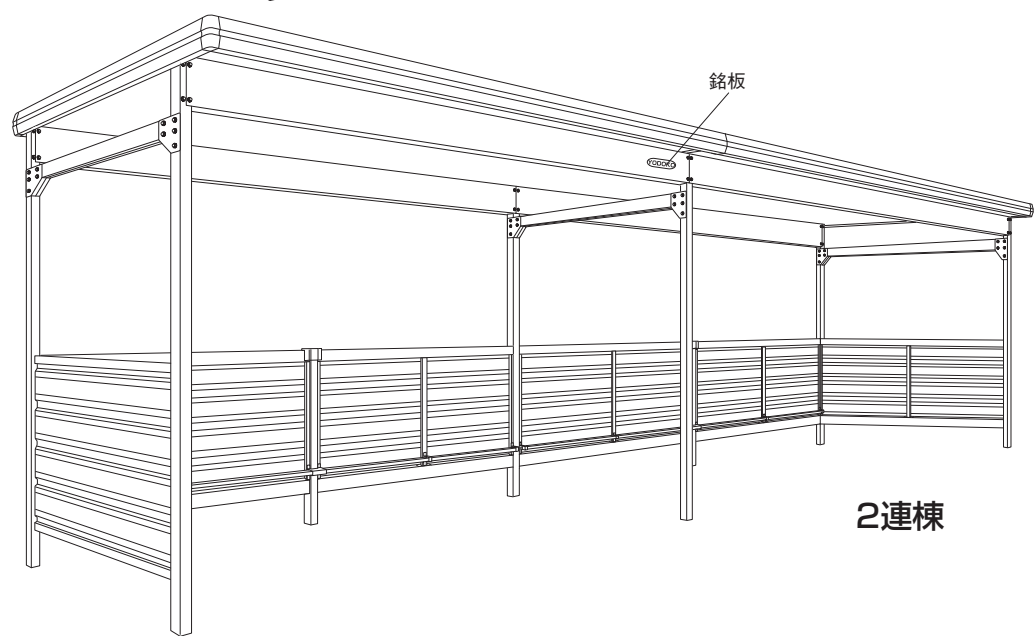
- ①ブラケットを車止めパイプに取付けます。
- ②車止めパイプを額縁 (KN) 左 (右)、間柱 (KN) 背に取付けます。



壁を外側から張り付け、廻し縁と一緒にテックスで胴縁・額縁・間柱に固定します。



最後に銘板を貼り付け、柱をモルタルで固定し、安全を確認してから、柱の支えは必ずしてください。



※以上で完成です。ボルトの締め忘れがないかを確認してください。

お客様へ
組立説明書と取扱説明書
は大切に保管してください。

施工業者の方へ
取扱説明書は大切な書類です。
本書と取扱説明書は、
必ずお客様にお渡しください。

**ヨド自転車置場
KWAU(豪雪地型)**

ヨドコウ

KWAU_KS_2025A

ヨド自転車置場

KWAU（豪雪地型）補足説明書 Kwasu-3226型用

＜対象梱包＞ KW1-0102, KW1-0102K2

Kwasu-3226型を施工される場合、「梱包組合せ表」、「梱包内容表」、「基礎平面図」は以下を参照ください。

【梱包組合せ表】

梱包名	梱包番号	梱包重量	Kwasu-3226	
			基本棟	追加棟
部品	KW1-0102	23.0	1	
	KW1-0152	15.0		1
柱	KW1-0402	36.0	1	
	KW1-0404	36.0	1	
	KW1-0406	36.0		1
	KW1-0421	16.0	1	1
支柱	KW1-0451	24.0	2	1
桁	※ KW1-0506	27.0	1	1
	※ KW1-0507	27.0	1	1
	※ KW1-0508	23.0	2	2
胴縁	KW1-0603	27.0	1	
	※ KW1-0604	24.0	1	1
屋根	KW1-0902	15.0	右記	
屋根部品	※ KW1-0955	6.0	1	
	※ KW1-0956	5.5		1
壁	KW1-1003TS	14.0	1	
	※ KW1-1004TS	11.5	1	1
鼻隠し	※ KW1-1105	5.0	1	
	※ KW1-1106	5.0		1
ケラバ	KW1-1121	17.0	1	
梁	KW1-1601	18.0	2	1
計			19	13

KW1-0902	
単棟	6
2棟	11
3棟	16
4棟	22
5棟	27
6棟	32

※は新規梱包

【梱包内容表】 ※以外の梱包は組立説明書を参照ください。

● 桁梱包

梱包番号	部材名	数量
KW1-0506	CB 桁32 S	1
KW1-0507	CB 桁32 S PL60	1
KW1-0508	CB 桁補強 32	1

● 胴縁梱包

梱包番号	部材名	数量
KW1-0604	CB 胴縁A 16	1
	CB 胴縁B 16	1
	CB 胴縁C 16	2
	CB 車止めパイプ 16	2
	CB 廻し縁 16	2

● 屋根部品梱包

梱包番号	部材名	数量
KW1-0955	端パネル受フレーム BN	4
	パネル受フレーム 88-I型	10
KW1-0956	端パネル受フレーム A	2
	パネル受フレーム 88-I型	10

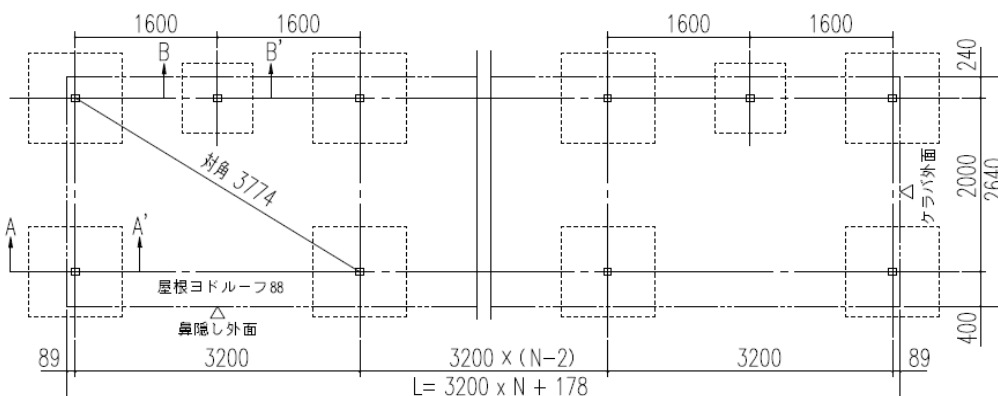
● 壁梱包

梱包番号	部材名	数量
KW1-1004	CB 壁 16 TS	2

● 鼻隠し梱包

梱包番号	部材名	数量
KW1-1105	CB 鼻隠し32-A	1
KW1-1106	CB 鼻隠し32-B	1

【基礎平面図】



基礎伏図

(N:2~6スパンまで)